平成28年度下田南地区振興会定期総会が開催されました

4月15（金）、下田南地区コミュニティセンターで平成28年度下田南地区振興会総会を開催しました。ご来賓に古賀天草市議会議員、椎木天草支所長、永田まちづくり推進課長、薮本天草地区公民館館長様にご臨席をたまわり、野口安則議長進行のもと委員出席者32名委任状11名で3議案について審議を行いました。事業経過・決算報告、事業計画案・予算案、役員改正が討議され承認を得ました。地域の課題等、新体制でも取り組んでまいります。

地域を支え、ご活躍に期待します！

鬼海区長　【鬼海愛寛】

昨年7月より前区長の移転にともない、区長職を引き受け今年度も引き続きやらせてもらいます。

いずれはお手伝いせねばと思っていましたが、これ程忙しいとは思ってもいませんでした。しかし地域の活動に参加する事により、今まで出会う事さえなかった人々とのふれ合いが生まれ和気あいあいとした新たな仲間が出来、心身共に若返って来ている自分を感じています。一集団、グループで活動する事の一番良いところかな…と思っています。

地域住民の皆様の協力をあてにして気張らず活動してみようと思っています。ちなみに遊び（ゴルフ・釣り・潜り）大好き男よろしく。

中央区長　【中村昭廣】

新米区長です。ご協力をよろしくお願いします。

施政方針

一　三本の矢を纏めて良き方向に放つ。

中央区、佃浜区、鬼海区がしっかりとスクラムを組んで、小田床が明るく楽しい活き活きとした町づくり。

二　アキノミクス

①　希望を生み出す元気なGDP。（爺と婆）

②　介護入所0を目指す。

③　外出率2.0（週2回以上外出する、地域行事参加、ウォーキング等）

④　ハチオー（80人）総活躍。

⑤　天草支所、下田南地区振興会、公民館、老人会等各団体と協調

佃浜区長　【野口安則】

二期目の佃浜区長を拝命しました。精一杯務めますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い致します。高齢化と人口減少が止まらないなか、区の運営も厳しさが増してきましたが、手を拱いても仕方ありません。地域活性化の一翼を担うべく、休耕地を利用してオクラやボウフウ栽培をしています。ささやかではありますが、今、何ができるかと考え、行動したいと思います。

天草地区交通安全協会員　【西岡　清】

私は交通安全協会に入って13年、交通指導員になって9年目になります。春、秋の交通安全運動の時には、交通安全のぼり旗をつけたり各地区の行事の時には、交通整理、指導を行っています。

最近スピード違反、事故が多発しています。愛する家族の為にも交通安全を心掛けてほしいと願っています。

民生児童委員　【上野幸子】

急速な少子高齢化が進み、人口も減少になっております。このような状況の中、住民の皆様方が安心安全な生活が出来ますように、民生委員として地域の皆様方の立場に立ち、相談、支援に努めます。

尚、日頃地域の実情を把握し、区長さんや関係機関との連携を取り、ともに支え合い、住み良い町づくりにお手伝いしていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

保護司　【野口真澄】

日頃から学校や地域と連携して、社会を明るくする運動をはじめとした、犯罪や非行を防止する活動に取り組んでいます。「住まいがあれば、明日が信じられる。」仕事があれば、自分が信じられる。」総会の挨拶で、熊本保護観察所長の言葉が心に残りました。限界集落まっしぐらの当地区だからこそ、お互いに声を掛け合い、温かく見守り支え合ってゆきたいものです。

天草市教育委員　【行合八恵子】

主任児童委員

「子どもと地域」

健康部会ミニバレーに、子ども達が来る。嬉しい。好奇心旺盛の腕白小僧は注意を喰らう。昔の子育て原風景である。地域のオッサン、オバサンが見守る中、社会規範を覚え、子どもは他人に迷惑をかけない大人になる。子どもの笑顔や明るい声は周りの大人を元気にする。子どもの参加を認める父母も達よ、地域の愛情を受け逞しく育て！

妙見老人会長　【濱﨑一芯】

会長をお引き受けしてから4年目になり、会長としての最終年度を迎えました。総会も終わり現在28年度の事業に取り組んでいます。本年度も昨年と同様、健康寿命の推進・財政の確立・会員の加入促進、を目標と致しております。温泉利用健康づくり、廃品回収事業、会員の加入推進、私達の妙見老人会も3年で8名減少し60名の会員です。楽しい老人会であることを啓蒙しながら、多数の会員の皆様の加入をお願い致したいと思います。又公民館とタイアップして、カレッジによる勉強会も開催するように計画致しております。今年も食生活改善推進委員の方にお願いして、高齢者料理教室も開催するように計画致しておりますので、例会には多数の会員の皆様の出席をお願い申し上げます。

地区の皆様方にも色々ご指導いただく場合がありますので、ご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い致しまして老人会長としての言葉と致します。

一枚の写真から　村の青年団の思い出

入口武宣　桑原ツトム　尾崎　力　白石チカエ　白石治正

白石英治　若松正義　白石定子　白石サダミ　白石英樹　中村晴人

白石謙一　鬼海義久　白石義一　白石清義

今から　およそ６０年前の写真であります。

当時、中村青年倶楽部（現在若松家裏地）の正面で撮影した青年団員達。

村の運動会で中村分団が優勝し誇らしげに笑う若き獅子達と３人の乙女。

打ち上げはさぞ盛り上がったでしょう。当時村の青年団員は60人以上は居たとか聞きました。各地区には青年倶楽部が設置され、青年宿と言って寝泊りしていたようです。中学校の卒業式の晩から泊まっていた人もいたとか。15歳は昔の元服の年です。そこには分団長、先輩の団員がいて秩序等、集団生活を学び大人としての自覚を促す場所でもありました。

若者同士身近な悩み事、恋愛問題、更には社会情勢等、大いに議論したでありましょう。時には喧嘩口論も派手にやっていたと、懐かしげに振り返る人もいます。若者同士お互い切磋琢磨しながら成長していったのでしょう。村に於ける青年団の存在は多大なものでありましたが、時代の波により徐々に若者が都会に出て行ってしまい、写真の中で今現在地元に残っている人はたったの一人になりました。　【白石宣子】

←さて誰でしょう。

当時はファッションにも敏感な者がいて流行の先端を走る彼はパーマをかけました。囲炉裏の火で火箸をあぶり伸ばした前髪をクルクル巻きにしました。「おれも、おれも」と仲間にも広がり、ついには村中の若者が伊達男を気取りかっぽしていたそうであります。

イラスト　若松米雄

小田床面白方言「シリーズ」④

我が家のじい、ばあが使っていた方言、回顧録

ばあの巻

①近所の子、人見知りで親にあとべ（後追い）して泣く姿に

「泣っくうじゃればじゃるもん、こがんあれば、誰からもみぞがられんとじゃわい。」〔泣きべそだな、こんなだったら誰からも可愛がられない〕

②親戚の子沢山の家に行った時

「あよーあよ、騒動ばっかりして、目ばつくじるこたるわい。」〔目が疲れてしまう〕

③親戚のおしゃべりな女の子に

「こん子は親にゃあ似んでん、ちゃんめらじゃればじゃるもん、誰に似たっじゃいよ。」

〔この子は親には似ずに誰に似たのかな？〕

④我が家の孫が、中学を卒業し家を離れる時、泣いていた。

「あよーお、よそさんはってくとかい、とぜんなかわい。」

〔あーあ、他所に行ってしまうのかい、淋しい〕

爺の巻

じいは毎日縁側で日向ぼっこをしていた。我が家の庭先には柿の木があった。隙を見て近くのおうど坊主（いたずら坊主）が、木に登り熟れた柿にねんちょかけて（ねらいを定めて）手を伸ばした。じいの雷が落ちた。「ちんちろまいして逃げたわい。くわっくわっ。」入れ歯を鳴らしながら笑っていた。

〔一目散に逃げた〕

下田南のデータ・・・93世帯（男83人、女111人）高齢化率（65歳以上）79人40.72％（平成28年６月１日現在）